

産業廃棄物処理状況調査票

(No. )

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社〇△□ 名古屋支店	従業員数 (人)	100	前年度の3月31日現在の従業者数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	管理部 名古屋 太郎	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	12,000	建設業の場合記入。名古屋市内で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	052-000-△△△△	山内課 (〇〇〇/年)		製造業の場合記入。前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	産業廃棄物の種類 (名称)				
		がれき類 アスファルトがら	がれき類 コンクリートがら	がれき類 石綿含有がれき	汚泥 建設汚泥	廃プラスチック
前年度計画の実施状況 (1年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	1,000	500	50	500	10
	b 有償物量 (t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	1,000	500	50	500	10
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ( )				
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外				
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ( )				
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ( )				
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外				
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	1,000	500	50	500	10
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年)	1,000	500	50	500	10
	e 埋立処分 (t/年)	0	0	50	0	0
埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
f 委託中間処理量 (t/年)	1,000	500	0	500	10	
処理方法	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	
g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0	0	200	0	
h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	1,000	500	0	0	10	
再生利用用途	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	
i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	300	0	
埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	500	0	0	0	10	
k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0	0	200	0	
l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	0	50	300	0	

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・熔融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. )

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社〇〇〇 名古屋支店	従業員数 (人)	100	前年度の3月31日現在の従業者数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	管理部 名古屋 太郎	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	12,000	建設業の場合記入。名古屋市内で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	052-000-△△△△	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	木くず	混合廃棄物				
			安定型				
前年度計画の実施状況 (1年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	30	15				
	b 有償物量 (t/年)	0	0				
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	30	15				
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	再生利用用途	A・B・C・D E ( )				
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0			
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
		④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0			
	処理方法	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	
		⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0			
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0				
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	再生利用用途	A・B・C・D E ( )				
		⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0			
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
		c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0			
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	0	15				
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	0	15				
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
		f 委託中間処理量 (t/年)	0	15			
	処理方法	A・B・C・D E ( )	A・B・C E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	
		g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0			
h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	再生利用用途	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )		
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	15				
埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外		
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	30	0				
k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0					
l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	15					

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。  
 2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)  
 3 処理方法コード A:焼却・熔融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)  
 4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。  
 5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。